

## 「科学技術に関する国民意識調査（新型コロナウイルスを含む感染症に対する意識）」

文部科学省 科学技術・学術政策研究所（N I S T E P）では、科学技術に関する一般の方々の意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、「科学技術に関する国民意識調査」を実施しています。

この調査では、従来から、感染症予測と対策について、政府の講じるべき科学技術に関連した政策をたずねています。

このたび、新たに新型コロナウイルスを含む感染症についてたずねたところ、「研究開発の推進」、「一般の人へのわかりやすい情報提供」を回答する人の割合が過半数を超え、また、前回の調査（2019年3月）からもこれらを選択した人の割合も増加しており、新型コロナウイルスを含む感染症の予測と対策について、科学技術に関連した政策に対する国民の関心が高まっていることがわかりました。

### I. 新型コロナウイルス等の感染症予測と対策として政府の講ずべき施策として回答された割合とその時間変化

新型コロナウイルス、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うかとの問いに対して、「研究開発の推進」を選んだ人が全体の60.1%、「一般の人々への分かりやすい情報提供」を選んだ人が全体の56.0%であった。また、感染症に関しては2016年3月以降今回まで5回の調査で同様の質問をしているが、選択肢として挙げたどの施策についても選んだ人の割合が増加する結果となった（図1）。特に、「研究開発の推進」を回答した人の割合は、調査開始から初めて過半数を超え、研究開発に対する国民の関心の高まりを表す結果となった。

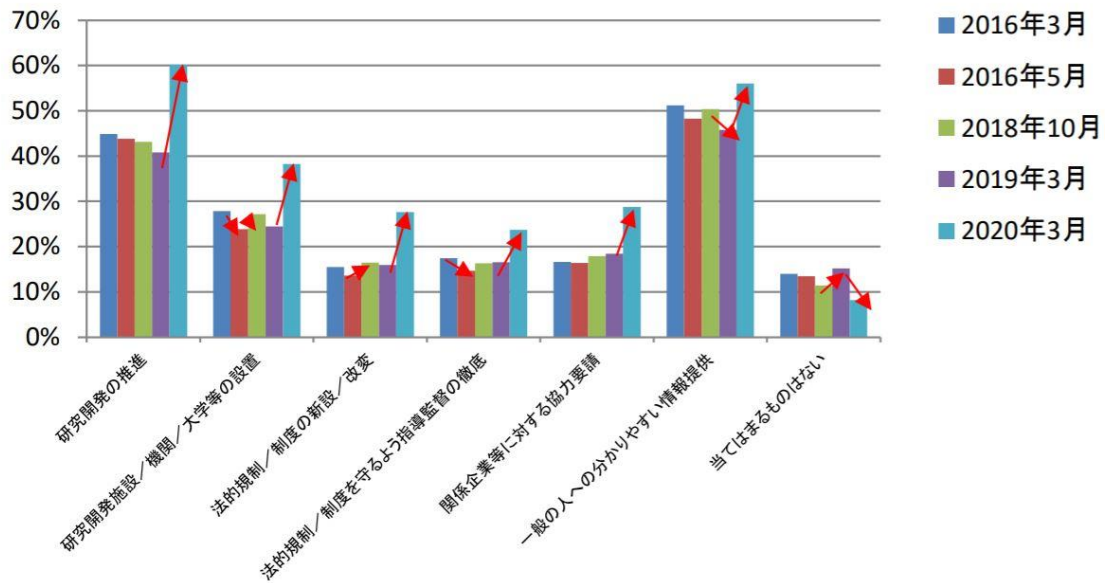


図1 新型コロナウイルス等の感染症予測と対策として政府の講ずべき施策として回答された割合とその時間変化

## II. 政府の講じるべき施策として「研究開発の推進」を回答した人の性別の割合と時間変化

回答者の性別とのクロス表を見ると（図2）、研究開発の推進をするべきとした回答者は、男女ともにその割合が伸びており、どちらも過半数を超えている。

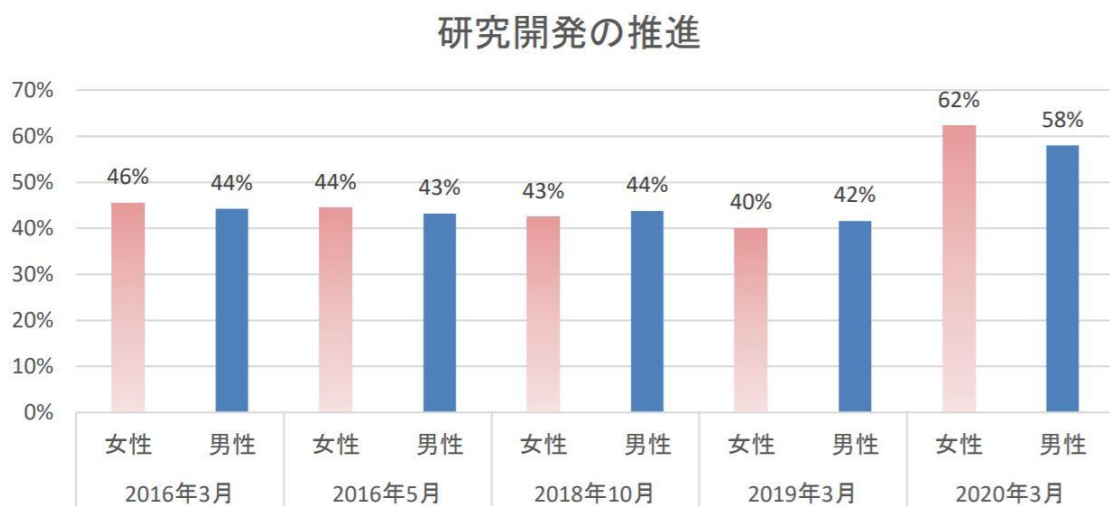


図2 政府の講じるべき施策として「研究開発の推進」を回答した人の割合（男女別）とその変化

### Ⅲ. 政府の講じるべき施策として「一般の人への分かりやすい情報提供」を回答した人の性別の割合と時間変化

回答者の性別とのクロス表を見ると（図3）、一般の人への分かりやすい情報提供をするべきとした回答者は男性よりも女性の方が多いことが分かる。また、男女ともにその割合が伸びており、どちらも過半数を超えている。

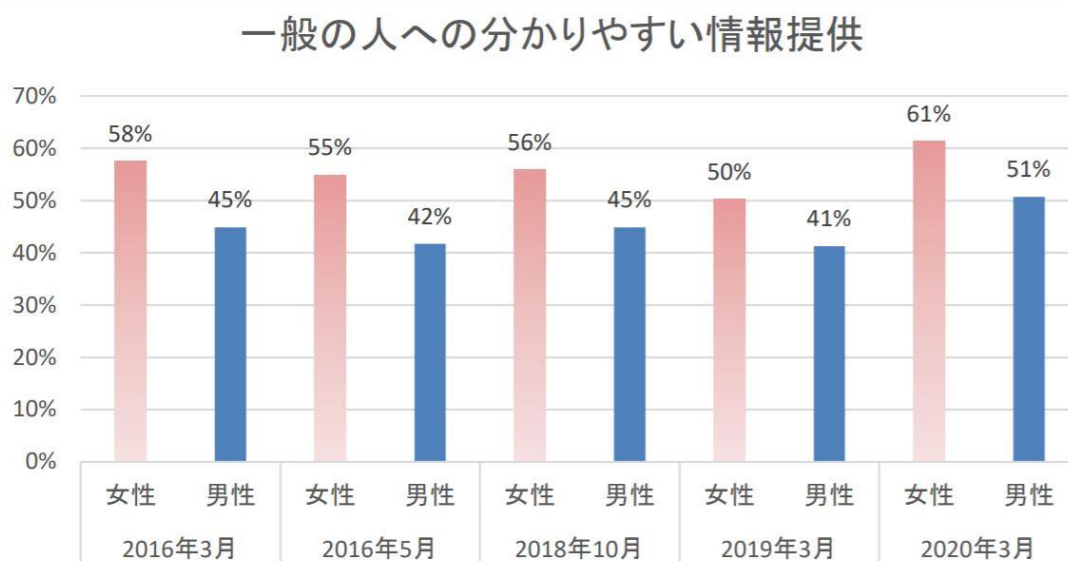


図3 政府の講じるべき施策として「一般の人への分かりやすい情報提供」を回答した人の割合（男女別）とその変化

### Ⅳ. 政府の講じるべき施策として「研究開発の推進」を回答した人の年代別の割合と時間変化

回答者の年代別とのクロス表を見ると（図4）、研究開発の推進をするべきとした回答者は50-60代が多いことが分かる。世代間によって関心の差はあるものの、全世代において過半数以上の回答者が研究開発の推進を重視していることがわかった。

## 研究開発の推進

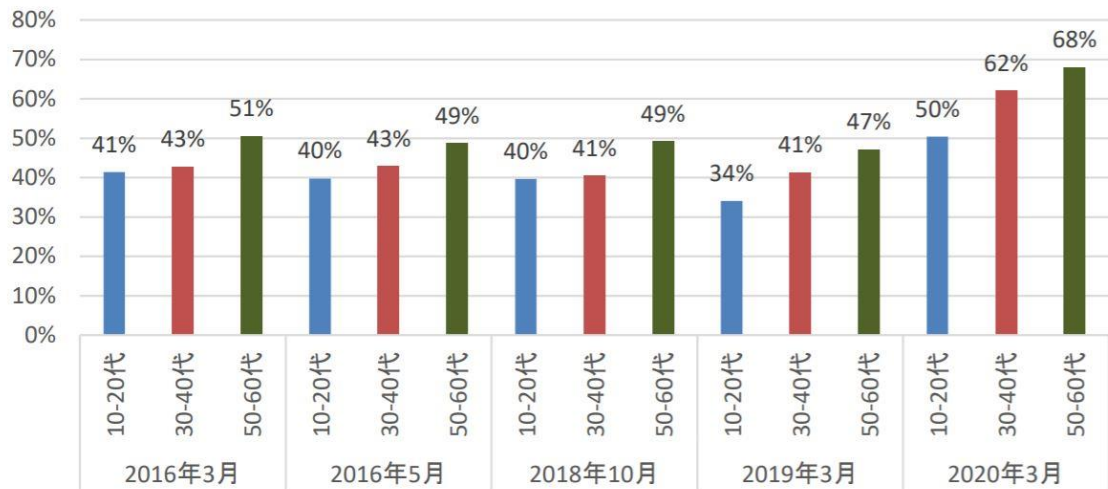


図4 政府の講じるべき施策として「研究開発の推進」を回答した人の年代別の割合と時間変化

## V. 政府の講じるべき施策として「一般の人への分かりやすい情報提供」を回答した人の年代別の割合と時間変化

回答者の年代別とのクロス表を見ると（図5）、一般の人への分かりやすい情報提供を重視する回答者は50-60代が多いことが分かる。世代間によって関心の差はあるものの、全世代において過半数以上の回答者が一般の人への分かりやすい情報提供を重視していることがわかった。

## 一般の人への分かりやすい情報提供

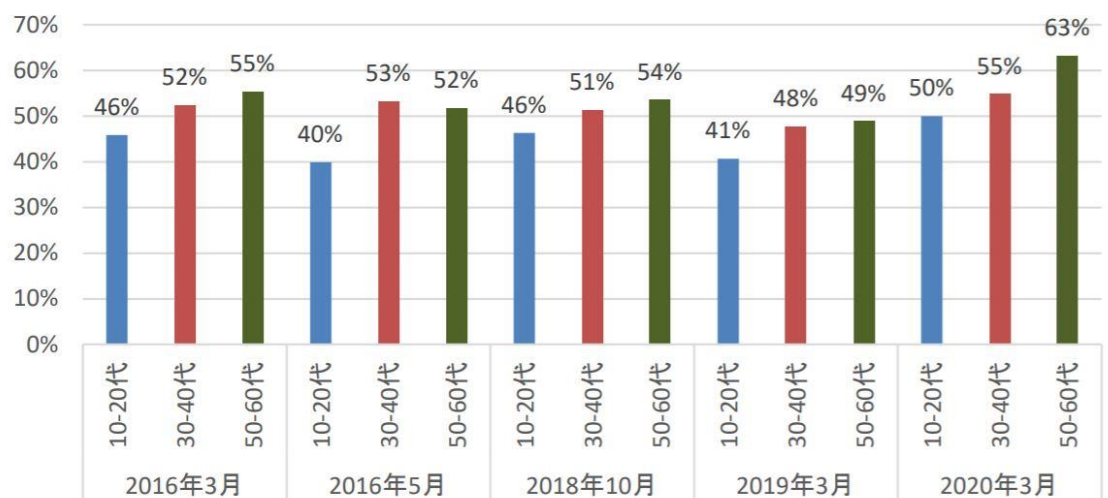


図5 政府の講じるべき施策として「一般の人への分かりやすい情報提供」を回答した人の年代別の割合と時間変化

## VI. 政府の講じるべき施策として「研究開発の推進」を回答した人の科学技術関心度別の割合と時間変化

科学技術関心度別とのクロス表を見ると（図6）、科学技術に関心がある人の方が研究開発の推進をするべきとした回答者の割合が高い。一方、科学技術に関心がない人も、過半数以上が研究開発の推進施策に期待を寄せており、関心の高まりがうかがえる。

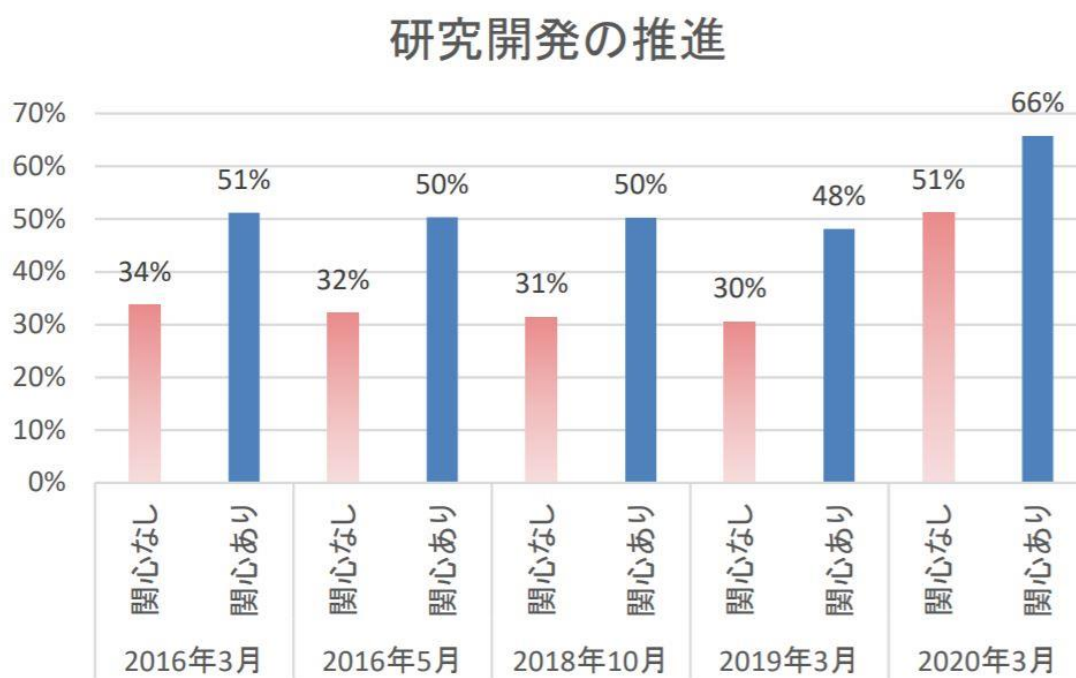


図6 政府の講じるべき施策として「研究開発の推進」を回答した人の科学技術関心度別の割合と時間変化

## VII. 政府の講じるべき施策として「一般の人への分かりやすい情報提供」を回答した人の科学技術関心度別の割合と時間変化

科学技術関心度別とのクロス表を見ると（図7）、科学技術に関心がない人も、過半数以上が一般の人への分かりやすい情報提供施策に期待を寄せており、関心の高まりがうかがえる。

## 一般の人への分かりやすい情報提供

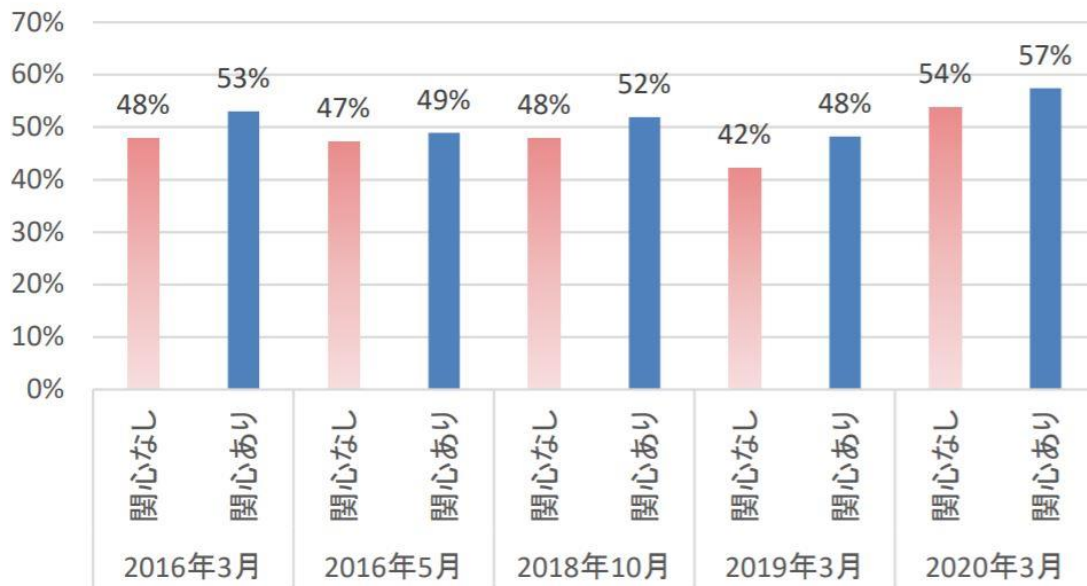


図7 政府の講じるべき施策として「一般の人への分かりやすい情報提供」を回答した人の科学技術関心度別の割合と時間変化

## VIII. 政府の講じるべき施策として「研究開発の推進」を回答した人の割合（9 地域別）と時間変化

地域別(北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州)の変化を見ると(図8)、今回の調査(2020年3月)の増加は特に地域偏在性はなく、全国ほぼ同様に研究開発の推進への必要性が向上していることが分かる。

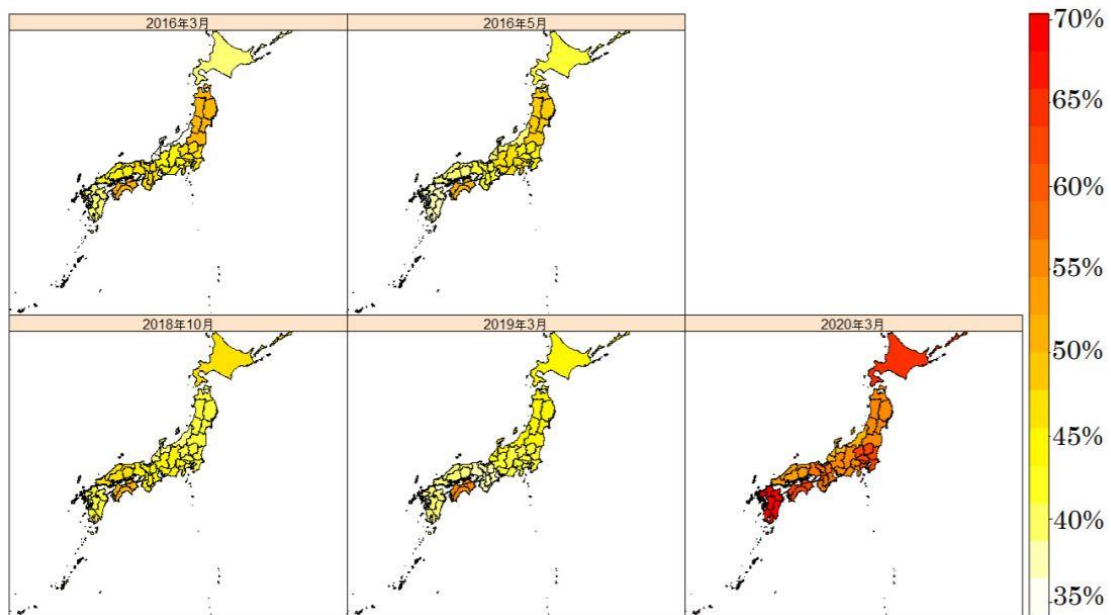


図8 政府の講じるべき施策として「研究開発の推進」を回答した人の割合（9 地域別）2 の変化

日本語原文 [https://www.nistep.go.jp/wp/wp-content/uploads/public-attitudes\\_flash.pdf](https://www.nistep.go.jp/wp/wp-content/uploads/public-attitudes_flash.pdf)

文 JST 客観日本編集部